

放課後等デイサービス ガイドライン

利用者用(保護者向け)放課後等デイサービス評価表 総括表

令和2年9月実施

【 集計結果 】

10人のご利用者様にアンケートをお願いし、アンケート回収できたのが7人(回収率70%)であった。

評価が低い項目は、①保護者同士の連携の支援、②障害のない子どもとの活動の機会、③活動プログラムの工夫、④定期的な避難訓練の実施(③と④の二点は同率)の4点であった。

① 保護者同士の連携(保護者会等の開催等)は、仕事をされている親御さんが多い為、日程調整が現実的に困難であった。

② 障害のない子どもと活動する機会は、事業所の地域で例年実施されている子ども神輿などの地域行事が、今年はコロナウィルスの影響で中止になってしまった為、障害のない子どもと活動する機会の提供が困難であった。

③ ②と同様、コロナウィルスの影響で、外出レクを始めとする外出の機会をプログラムに盛り込むことが困難だった。

その代わりに今年の夏休みは、事業所内で夏祭りや流しそうめん、調理実習などを保護者の要望もあり実施することで、少しでもプログラム内容が固定化されず、子どもたちに楽しんでもらえるような工夫を行った。

昨年までと違って、HPのブログの他に夏祭りなどのイベント行事をオリーブ通信として保護者にお渡しすることで、周知の徹底を図ることができた。

④ 定期的な避難訓練の実施に関しては、実際に事前に消防署に通知をFAXで送付して、受領して頂いた上で実施している。

評価が高い項目に関しては、①満足度において85%の利用者様から評価をいただいたこと、②全体の内容で約74%の項目で評価をいただいたことは、非常にスタッフのモチベーション向上に繋がった。

【 全体ミーティングで挙げた改善策 】

①保護者会の設置

・これまで保護者会を実施できていなかったが、保護者の中には子育ての相談ができる人が身近にいない現状がある。その為、今後コロナウィルスの状況を鑑みつつ、保護者同士の連携の支援に繋げていけるよう働き掛けていきたい。

②地域の子どもたちとの交流

・コロナウィルスの影響で、今年は地域の子ども神輿の行事が中止になってしまった。

その為、コロナウィルスの状況を鑑みて、状況に応じて今後は地域の行事への参加を検討するしかない。

③活動プログラムの工夫

・②と同様、コロナウィルスの影響で外出レク等の外出をすることが、ほとんどできていない。

その為、コロナウィルスの状況を鑑みて、状況に応じて今後は外出レク等の実施について検討するしかない。

④定期的な避難訓練の実施

・実際に、定期的に避難訓練は実施していて、HPのブログ等で掲載はしているが、保護者様への周知ができていない為、評価されていない点が多かった。その為、今後はお便りのような物を保護者にお渡しして、周知の徹底を図っていきたい。

⑤保護者様へ

・この度は、沢山のご家族様にアンケートのご協力を頂きまして、ありがとうございました。

今後共、変わらぬご愛顧の程、宜しくお願い致します。

株式会社オリーブ・コミュニティ

オリーブキッズせんかわ(重症心身障害児)
管理者 山田 直樹